

平成30年度第2回日高管内学力向上推進会議

平成30年11月20日（火）、北海道日高合同庁舎において「平成30年度第2回日高管内学力向上推進会議」を開催しました。

会議では、冒頭に、事務局から『北海道版報告書』から見える学力向上に向けた管内の課題』について説明を行った後、学力向上に向けた取組に係る実践発表や事務局提案の『夢と志をもち、可能性に挑戦する子ども』10の指標』の内容に係る検討を行い、最後は、日高教育の充実のために、学校、家庭、地域、関係機関が協働的に取り組む学力向上に向けた方策について協議を行いました。



【実践発表】管内の学力向上に向けた取組について

浦河町立浦河小学校

教諭 中尾 育夫 氏

〔ポイント〕

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

浦河、様似小学校において、「授業スケール」を活用して一単位時間における進捗状況を児童に示したり、「見通す・振り返る」学習活動を計画的に位置付けたりするなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進している。



北海道平取高等学校

校長 菅原 雅之 氏

〔ポイント〕

オンデマンド教材を活用した家庭での事前学習の充実及び学習習慣の確立

オンデマンド教材を活用し、学習管理システムを通じて生徒一人一人の学習状況を管理することにより、国語科における語彙力の向上につなげるなど、生徒の学力及び進路に合わせた学習指導と学習習慣の確立に向けた取組を推進している。



様似町教育委員会生涯学習課社会教育係

主査 小島 雄介 氏

〔ポイント〕

町内の公共施設を利用し、小・中学校の児童生徒が一斉に行う補充学習

町内の公共施設を会場に、町教委職員や学生ボランティア、地域ボランティアが連携を図り、児童生徒の学習状況を把握しながら、夏季休業など、長期休業を活用した児童生徒の補充学習の充実に向けた取組を推進している。



【説明】「夢と志をもち、可能性に挑戦する子ども」10の指標について

平成30年度第1回日高管内学力向上推進会議（平成30年6月8日開催）において、各学校種、関係機関の委員が協議を行い、明らかになった「育成を目指す子ども像」（「夢と志をもち、可能性に挑戦する子ども」）の実現に向けた「10の指標」を事務局でまとめ、内容について委員の皆様にご検討いただきました。

完成いたしました「10の指標」につきましては、日高教育局ホームページに掲載するとともに、今後、各学校の教育活動の検証、改善に向けて活用していただくよう呼び掛けてまいります。

【協議】日高教育の充実のために、取り組むべきことについて（協議の内容〔抜粋〕）

- ・校長のリーダーシップと先生方の研鑽により、教科等における授業改善は少しずつ前進しているが、今後は教科等横断的な視点に立ち、各教科等で育まれた資質・能力がどのように関連し、「社会（地域）」とどのように結び付いていくのかについて意識して取り組んでいくことが大切である。〔教育〕
- ・教育に関する情報については、子をもつ社員に随時知らせているが、家庭・地域の日高教育への関心が更に高まるよう、周知方法等を検討する必要がある。〔家庭教育サポート企業〕

【今後の方向性】

- ・本会議の協議等を踏まえ、学力向上や未来社会を生き抜く資質・能力を着実に育成するために、育成を目指すべき子どもの姿を学校、家庭、地域社会が共有するとともに、各学校において「10の指標」を活用し、「子どもの変容」を通して教育活動の検証、改善が進められるよう働きかけていく。